

プロが教える**得**情報

インターネットの登場により、就職・転職活動がここ数年で大きく様変わりした。特に大学生の就職活動はウェブを利用するのがもはや常識。転職活動においても、ウェブ上にさまざまな情報が集まっており、転職を考えたなら、まずはチェックが必須とも言える。では実際にどのような情報があり、どうやって活動していけばいいのかが、具体的に見ていこう。

入倉由理子

ウェブで極める

就職・転職

Illust: Hasegawa Takako
Photo: Watari Tokuhiko



著者紹介
就職・転職にかかわる書籍を執筆。この7月にはアスキーより「2000年度版 インターネット転職成功マニュアル」を刊行。

就職活動じゃなく、 歩き回るだけじゃなく、 就職活動じゃない！

就職活動じゃなく、歩き回るだけじゃなく、就職活動じゃない！

数年前まで大学生の就職活動と言えば、大学の掲示板に貼られた企業の情報を見たり、家に送られてくる分厚い情報誌やダイレクトメールなどを元にして手当たり次第八ガキを出しては説明会に応募したりして、面接まで進めていくというものだった。確かに今で

も説明会はあるし、面接も存在するわけだが、そこまでの流れがここ数年で大きく変わった。来年4月入社予定の学生約41万人のうち36万人がリクルート社の就職情報サイト「リクナビ」に登録、そこから情報を集めて電子メ

活動

ールで説明会参加の申し込みをしているのだ。もはやインターネットは就職にとって欠くことのできないツールとなっている。

一方、すでに社会人となっている人の転職活動はというと、こちらでもインターネット上に数多くの情報があり、各企業も自社のホームページで求人情報を掲載するほか、企業概要なども詳しく紹介しているので、やはり大切な情報源だ。また、従来にはなかったインターネットならではの転職活動というものも登場してきている。「Sim-Career」のように自分のスキルを登録しておく、企業からスカウトされるというサービスがある。つまり、自分で転職したい企業がはっきりイメージできなくても、自分を欲しいという企業が声をかけてくれるのだ。

もちろん電子メールを使って企業の人事担当者と連絡が取れるから、今の会社に知られることなく転職活動が展開できる。もはや歩き回るだけがすべてではないのだ。

タイプ別

あなたにピッタリの就職情報サイトはここだ！

就職・転職活動と一口に言っても、その目的は人それぞれであり、そのアプローチも異なるはずだ。検索機能を用いて探していくのか、入りたい企業が定まっているのかなど、目的別にウェブサイトを分類し、その利用法について解説していこう。

1

いろんな業種、職種を一度に検索



➡ 262 ページ

Digital B-ing

JOBWORLD

RECRUIT navi

2

自分のキャリアを生かした仕事がしたい



➡ 264 ページ

Sim-Carrer

CAREER SQUARE

3

どうしてもこの企業で働きたい



➡ 265 ページ

各企業にダイレクト

4

キャリアアップしてから就職したい



➡ 266 ページ

派遣会社や専門学校

1

いろいろな業種、職種を一度に検索

総合情報サイトを横断する

ここ数年で、就職・転職情報をデータベース化した情報サイトの数が増えた。これはいわばウェブ上の就職・転職情報誌だ。検索エンジンで職種や業種、勤務地などから企業情報を検索し、ウェブから直接電子メールやフォームを使って応募ができる。

A Digital B-ing

転職

Jump job.rnet.or.jp/DB/



転職情報データベースとして日本最大で、運営はリクルート。毎週水曜日に更新され、その平均職種掲載件数は1100件から1200件。IT系のエンジニアの募集も多いが、最近では営業職や事務職などが増えてきている。職種、勤務地、希望年収などで検索でき、メールマガジンサービス(メールマガジン)もある。

B JOBWORLD

転職

Jump www.jobworld.co.jp



(株)ピーエーの運営。「IT技術者のためのキャリアアップサイト」と銘打ち、求人情報を検索できるだけでなく、「営業職」、「高収入・高待遇」など求人テーマごとに集めた特集や、資格情報や模擬試験、IT関連書籍の紹介などエンジニアのキャリアアップに役立つ周辺情報が充実している。

C RECRUIT navi

転職

Jump job.rnet.or.jp/RN/



会員数36万人を誇る日本最大の新卒向け就職情報サイト。企業情報や会社説明会情報の検索、就職活動に役立つ情報などが閲覧できる。会員になると「リクナビ就職手帳」という企業からのメッセージの受け取りや自分の活動履歴が管理できるサービスが提供される。

interview

株式会社リクルート
Digital B-ing 編集長

三牧義明氏



2000年3月に卒業する大学生向けの就職情報サイト「RECRUIT navi(リクナビ)」は36万人もの大学生会員からの支持を受け、「就職活動はリクナビで」という現象を生み出した。時間や距離の制約を越えたインターネットの利点が、学生ならではの感性や情報共有の速さをもって急速に普及したと言えます。たとえば、会社説明会の予約や人気企業の説明会予約日にはいち早く情報をつかんだ学生からのアクセスが集中し、瞬間に席は埋まってしまいました。現状はまだメディアとしては発

展途上段階であり、このような例は過渡的な現象かもしれません。

一方、社会人向け転職情報サイト「Digital B-ing」の利用者も以前のようにエンジニア中心ではなくなってきており、営業職や管理職などの利用者は急速に増加中でメディアとしての成長を感じています。しかし、世の中に数ある選択行動のうち求人情報は企業からの一方的な情報提供に終わっているのが現状であり、情報の非対称性が色濃く残っている分野ですが、近い将来この状態は崩れていくと思

います。個人と企業の双方にとって、よりよい選択のための情報とチャンスをインターネットがサポートする、そんな社会がもう始まっているのは間違いありません。

①...就職(新卒)向け
②...転職向け

より身近になった ハローワーク

Jump www.hellowork.go.jp

D
**Nikkei BP
JobNet**
Jump job.nikkeibp.co.jp



エンジニアとスペシャリストのキャリアアップ情報を提供する日経BP社のサイト。求人情報に加え、転職基礎知識などの関連情報、市場価値測定テストなど能力診断テストといったコンテンツも充実。また、「Biz Techの記事検索」は、企業の最新動向が検索でき、応募前の情報収集に便利だ。

E
Dai-Job
Jump www.daijob.com



外資系の求人だけを集めた転職情報サイト。「日本語と英語のバイリンガルでプロフェッショナル」が対象。個人情報登録すれば自動的にメールマガジンが送られてくる。英文履歴書の作成、編集というフォーマットを使って応募用のレジュメが簡単に作れるサービスもある。

今までは「中高年向け」というイメージが強かったハローワーク(公共職業安定所)でも、急速にインターネットインフラが整備されつつある。今年の3月末から、都内23区内のハローワークに申し込みがあった求人情報を対象に、全国どこからでもインターネットを使って希望に合った求人情報を検索できるシステムを導入したJump。民間の就職・転職情報サイトと同様、希望職種や勤務地、賃金などの労働条件から、自分に合った求人を探すことができる。また、情報を検索することだけを目的とした求職者を対象に、就職相談は行わずにパソコンで検索だけを行える施設「ハローワーク情報プラザ」も登場し、順次、全国の都道府県に設置していく予定だという。これらは雇用情勢の悪化とともに求職者がハローワークに殺到する状況を受けたサービスの改善であり、あらかじめ就職したいと思う企業を絞り込んでから相談に行けるようになった。ハローワークにどんな求人があるかだけを知りたい場合には、長時間待たずにパソコンで閲覧すればいいので、今までよりずっと身近な存在になったと言えるだろう。



ハローワーク新宿西新宿庁舎に設置された自己検索用のパソコン。150台置かれたパソコンそれぞれに、小型プリンターが単独で設置されている。

就職・転職情報サイト一覧

ウェブサイト名	会社名	URL	掲載数	就/転	更新	備考
ASAHI JOB NETWORK	朝日新聞社	Jump www.asahi.com/job/job.html	約200社	就/転	月1回	朝日新聞日曜付けの「人事募集企画広告」掲載分もあり
ASIA NET	Asia-Net, Inc.	Jump www.asia-net.com/japanwww/	月に140 - 180件	就/転	毎日	アジアパシフィックの就職情報。英文履歴書自動作成システム利用可(クライアント700社)
Career Space BJ	(株)海日コミュニケーションズ	Jump www.mycom.co.jp/BJ/	約260社	転	毎週木曜	転職シミュレーション、転職ノウハウあり
Dai-Job	(株)リンクメディア	Jump www.dai-job.com	月に約300件	転	毎日	外資系求人サイト。無料メールマガジン発行。英文履歴書サンプルなど
Digital B-ing	(株)リクルート	Jump job.rnet.or.jp/DB/	約1200件	転	毎週水曜	メーリングリスト、適性診断テスト、「B-ing」の情報も一部掲載
employment net	(株)日本ブレンセンター	Jump www.nbc.co.jp	120社575件	就/転	毎週金曜	無料メールマガジンあり。転職の成功、失敗コラムなど
IntypeNET	(株)キャリアデザインセンター	Jump www.type.co.jp	300 - 400件	転	月2回	転職の基礎知識。説明会、セミナー情報
Job Square	Japanese Network (I.C.I. Inc.)	Jump www.jpnet.com/work/job/	70 - 80件	就/転	毎日	海外の就職情報。アメリカ就職マニュアルなどを掲載
JOBWORLD	(株)ビーエイ	Jump www.jobworld.co.jp	120 - 130社	就/転	随時	ITプロフェッショナル向け(JOBMAIL Jump www.jobmail.co.jp)
Nikkei BP JobNet	日経BP社	Jump job.nikkeibp.co.jp	80社約400件	就/転	毎週水曜	エンジニア、プロフェッショナル向け。特集、コラム、メールサービスなど
RECRUIT navi	(株)リクルート	Jump job.rnet.or.jp/RN/	約3500社	就	随時	会員数約36万人。企業情報のほか、説明会情報も随時更新
WORKTANK	(株)プレステージ	Jump www.worktank.com	400社約800件	就/転	毎週金曜	2001年度匿名登録開始。企業からの最新情報掲示板など
電覧画報(転職玉手箱)	(株)学生援護会	Jump www.engokai.co.jp/denran/tamate/	約200件	転	毎週水曜	スクール情報や新卒、Salidaの適職ナビなどリンク
読売インターネット求人情報Job Search	読売新聞社	Jump www.yomiuri.co.jp/job/	約300社	就/転	毎週月曜	就職に役立つ読み物あり

掲載数は8月10日現在

2

自分のキャリアを生かした仕事がしたい キャリアを登録して連絡を待つ

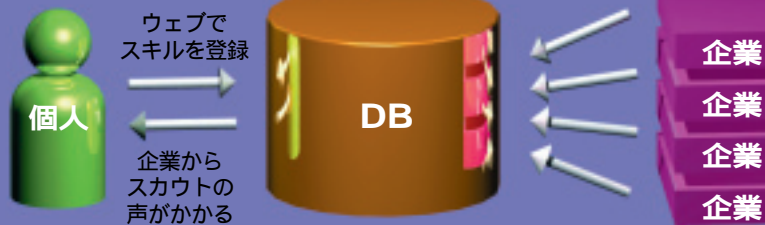
「自分から応募する勇気がない」、「自分の市場価値を測りたい」という人は、スカウト型のサイトや人材バンクに自分のキャリアを公開し、アクセスしてくる企業を待つという方法もある。転職を考えていなくても、自分のキャリアがリアルに評価される場として有効に使いたい。

A スカウト型サイトで 技能をアピール

Jump job.rnet.or.jp/SC/



スカウト型サイトのしくみ



ユーザーが自分のキャリアやスキルをフォーマットに入力・登録したものをデータベース化し、それを企業に匿名で公開して人と企業をつなぐ「スカウト型」と呼ばれるサイトがある。リクルートが運営するキャリアシミュレーションサイト「Sim-Career」や、PAが運営する「JOBMAIL」などがこの代表だ。

「Sim-Career」Jump を例にとると、ユーザーは自分のキャリアやスキルを登録したあと、個人情報公開してもいいという企業を

参画企業の中から選択し、それに興味を持った企業からの連絡を待つ。応募の意志が強い場合には、個人情報参画企業の特定の企業に打診してその企業からのメッセージを待つというより積極的な使い方も可能だ。

これらのサイトは、「採用される可能性がわからないのに転職活動をしたくない」、「自分のキャリアの評価が知りたい」といった人が、ウェブ上で気軽にシミュレーションできるというメリットがある。

B 人材バンクに 登録する

スカウト型サイトと同様、人材バンクも、自分のキャリアやスキル、希望を登録することにより、企業の求人ニーズに合わせて紹介してくれる。

近年、多くの人材バンクが独自のウェブサイトを開くようになってきた。右の画面は人材バンクの最大手リクルートエイブリックが提

供する「CAREER SQUARE」Jump。このサイトでは、法律上の規制で直接登録をすることはできないが、常に登録されている7000件から8000件の求人情報からピックアップした約2000件の閲覧が可能だ。求人媒体に出てこない自分のキャリアに合ったニーズを知るためにも利用できる。人材バンクの見逃せない機能であるキャリアに関するアドバイスが、電子メールで個別に受けられるのも魅力だ。

また約20社の全国の人材バンクが集まって情報を集約させた「人材バンクネット」もこ

の7月からスタートした。

Jump www.ablic.co.jp



人材バンク 求職者と求人企業の仲立ちをすることを目的とした斡旋機関・企業のことを言う。求職者が自分のキャリアやスキルを登録し、人材バンクが求人企業のニーズと擦り合わせてお互いを紹介するシステム。その後は試験や面接など普通の転職の過程と同様だ。人材バンクに登録すると、転職情報誌や新聞など公募媒体には出てこない求人と出合えることが多いだけでなく、自分のキャリアを正當に評価してもらえたり、キャリアプランの作成を手伝ってもらえたりと、転職活動のよきアドバイザーになってもらえる可能性がある。ただし、数が多いので、信頼できて、自分が志向する業界や仕事に強い人材バンクを選ぶようにしたい。

就職・転職イベント情報をチェック

就職・転職の媒体として、一般に「ジョブフェア」と呼ばれるイベントも見逃せない。会場に求人ニーズのある企業がブースを出し、興味のある企業の担当者と直接会って話が聞ける。

基本的には無料で、ラフな服装で気軽に参加できるイベントが多いが、履歴書を持って行ってその場で応募ということが可能な場合もある。就職・転職イベントは近年数を増やし、新卒者向け、転職者向け、U・Iターン希望者向け、技術者向け、留学生向けなど、特定の

ターゲットを絞り込んで行われている。これらのイベントの開催日時やその内容をチェックするには、主催会社であるリクルートや学研、キャリアデザインセンター、学生援護会などのサイトを見て回るといい。時期が近づくといろいろなサイトのバナーにも登場するので、こまめにチェックしておくといいたい。

3

どうしてもこの企業で働きたい 働きたい企業を直接攻める

応募したい企業が決まっている場合、その企業のホームページを直接見てみるといい。求人があれば、必ず求人情報ページがあり、企業情報も併せた詳細な情報を得られる。そこから電子メールやフォームで直接問い合わせや応募ができることも多い。

A 企業サイトの求人情報ページを要チェック

応募したい会社、興味がある会社が決まっている場合は、その企業のホームページを訪れるという方法が手取り早い。そこに求人情報ページがあれば、募集職種についての仕事内容や求めるキャリアについて詳細に書かれていることが多いし、ほかのページを覗けば、詳しい事業内容や将来のビジョン、経営者の考え方など応募を決める際に必要な情報が多く得られるからだ。

求人情報誌や就職・転職サイトは、基本的に有料広告であるため、求人をしていても

マイクロソフトの求人情報ページ
KJump www.microsoft.com/japan/jobs/



そこに掲載されていない企業も少なくない。自社のホームページはもちろん無料なので、「常時募集中」という企業も目につく。それほど積極的な求人人でなくても「即戦力で使える人がいけば採用したい」という人材の流動化時代には適した媒体と言えるだろう。また、情報誌や新聞で求人情報を見つけた場合も、必ずホームページを訪れて、より詳しい情報を収集するといふ。

な労力が伴ったが、気軽に問い合わせや応募ができるようになったのは間違いない。実際には、面接など選考の過程で書類の整理上、紙の履歴書や職務経歴書の提出を求める企業も多いが、とりあえず、最初のアクションはウェブで起こすことが可能だ。

その後の対応は、さまざま。面接のアポイントまで電子メールで進む企業もあれば、応募のあとは電話でという企業もある。

主な企業の電子メール受け付け状況

企業名	URL	メール問い合わせ	備考
JTB	www.jtb.co.jp		過去の試験問題、質問、人事部窓口送信フォーム
ソニー	www.sony.co.jp/soj/CorporateInfo/CHANCENavigator/		経験者情報エントリーフォーマット
トヨタ自動車	www.toyota.co.jp/natb/saiyo.html	x	チャレンジャー・オープン公募など(電話での受け付け)
NHK	www.nhk.or.jp/saiyo/		中途採用(秋採用受付中)の応募は郵送
本田技研工業	www.honda.co.jp/jobs/		グループ企業が随時中途採用。メールでの応募可
旭化成工業	www.asahi-kasei.co.jp/jobs/		中途通年採用(メールエントリー)
松下電器産業	www.panasonic.co.jp/employment/		中途キャリア採用(メール、応募フォーム)
NEC	www.nec.co.jp/japanese/recruit/		Personal Web Naviを活用
KDD	kdd.atluc.ne.jp		パーソナルウェブを利用して登録
日本テレコム	www.japan-telecom.co.jp		中途採用あり。メールでの応募可(新卒のみ、中途採用なし)
IDO	saiyo.ido.co.jp		中途採用はメールで応募

B 資料請求、問い合わせはウェブ&電子メールを活用

就職や転職の際に、ホームページを訪れるメリットはもう1つある。多くの場合、ウェブから電子メールやフォームで直接応募したり、問い合わせたりできるからだ。

これによって、今まで問い合わせの電話をしたのに勤務時間中で周りに気を遣ってできなかったり、応募の際に履歴書を手書きで書く、写真を貼るという煩雑な作業を省くことができたりする。従来、応募するまで大き

メールマナーに注意

電子メールで応募したり問い合わせたりできるようになったということは非常に便利だが、その反面、電子メールだからこそこるトラブルも多数発生している。

まずはその文面だ。確かに電子メールは気軽に書け、気軽に送れるというのがメリット。しかし、入社しようとしている企業の人事、しかもまだ一度も会ったことのない人に送る文書なので、いかに印象よく読んでもらうかが大きなポイントとなる。別に拝啓、謹啓といった言葉で始める必要はないが、丁寧な言葉で送ることは常識だ。なかには、いきなり友達風な電子メールが届くという声も人事サイドから聞くと、彼らもこの電子メールのやりとりで人物判断をしているので、当然落とされるケースがほとんどとなる。

一方で問題になっているのが添付メール。履歴書や職務経歴書を送る場合、単なるテキストで書くよりもマイクロソフトワードなどで整形して書いたほうがきれいであることは間違いない。しかし、このファイルを添付して送る際にトラブルが多いのだ。まずエンコードの問題で添付メールが取り出せないというケースがあるし、取り出してもワープロソフトの違いによって開けないというケースもある。さらにやっかいなのがそのファイルにウイルスが入っている場合だ。悪意がなくてもこれは困りもの。ウイルスチェックは徹底させようとして、事前に先方に添付メールすることを知らせ、許可をとってから送るように心がけたい。

4


キャリアアップしてから就職したい 資格や技能を身につける

やりたい仕事、やりたい分野を目指して転職する前に、自分の技術力を高めたい、知識を深めたいという人は多いはずだ。その際に、派遣社員で専門職として働く、派遣会社が用意するスクールや専門学校で学ぶという選択肢もありうることを紹介しておこう。

A 派遣会社を利用する

人材派遣は、かつてはオフィスワークのイメージが強かったが、現在は派遣対象職種が増えたことに加え、人材の流動化が進み企業の考え方が転換しつつあるため、エンジニアやクリエイターといった職種にもその範囲は及びつつある。これは自分の専門性を生かして働きたい、もっと自分の専門性を磨きたいと

考えている人にとってはチャンスとも言える。確かに期間が限定される保障のない働き方ではあるものの、自分の希望に合った職種や会社で働くチャンスは、正社員という働き方では得られないこともままあるからだ。派遣会社の中には研修制度が充実し、資格取得支援をしてくれるところもあるので、これらの制度を利用してみたいというも手だ。

右の画面にある(株)パナソニック提供のPASO NET  では、2時間おきに仕事情報が更新され、企業のニーズがリアルタイムにわかる。人材バンクのサイトと同様、そこで登録をすることはできないが、勤務地やカテゴリーで、今どんな派遣先でどんな仕事ができるかを検索することができる(今秋より職種や時

 www.pasonet.ne.jp



給などでも検索可能になる予定)。最近では、夜だけ、土日だけとサイドビジネスのように派遣で仕事をし、キャリアアップに役立てているといった人も登場しているようだ。

B キャリアアップで再就職

転職や再就職を目指してスキルアップを図るには、スクールや各種専門学校で学ぶという方法がある。現在ネットワーク関連、マルチメディア関連をはじめ各種コースがあるので、目的に合わせて選ぶといいだろう。また、前述したとおり派遣会社でも研修制度を用意しているところもある。











パナソニックを例にとると、パソコン講座など基

礎的なものから、マイクロソフト認定技術者を目指すコース、イラストレーターの習得コース、オープンネットワーク養成コースなど高度なものまで、さまざまある。通信コースで学ぶことができるのも、また1つの魅力だ。派遣登録者以外でも参加できるが、登録者のほうが

安い受講料で設定されている場合が多い。

このほか、ネットワーク技術者を養成する「int」では、中高年の男性受講者が急増しており、在職中でも企業から派遣されて勉強する人も多い。スキルが再就職への重要課題になっているとも言えるだろう。

キャリアアップを支援する派遣会社と専門学校

名称	URL	内容
アデコキャリアスタッフ	 www.adecocareer.co.jp	OA/ビジネストレーニングセンター
インテリジェンス	 www.work.ne.jp/staffing/	各種トレーニング、スクール情報
テンプスタッフ	 www.tempstaff.co.jp	テンプ・テクニカルスクール(自社経営) 大栄コンピュータ学院と協力
パナソニック	 www.pasona.co.jp	パソナカレッジ(通信コースあり)
マンパワー・ジャパン	 www.manpower.co.jp	スキルアップトレーニングシステム(登録スタッフは無料)
int	 www.into.co.jp	ネットワークエンジニア養成のための専門学校
NTTコムウェア	 www.nttcom.co.jp/edu/	ネットワーク、プログラミングなどの研修プログラムを提供
イサイズスタディー	 www.isize.com/study/	学生、社会人のためのスクール情報サイト
中央工学校 生涯学習センター	 www.chuoko.ac.jp	資格取得のための通学講座や通信教育講座多数
ヒューマン・アカデミー	 www.the-human.ac.jp	就職、転職、資格取得のための講座が多数ある専門学校

interview

株式会社パナソニック
情報管理グループ マルチメディア担当

半田尚子氏



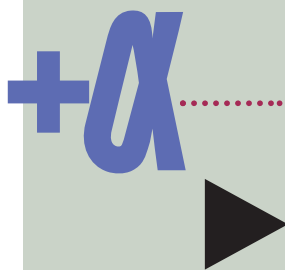
ネットワークを利用して仕事の情報を広く公開していること、97年の春からPASONETをスタートし、現在、1日で18万ページビューのアクセスがあります。求人情報を見るだけなら会員登録は必要ありませんが、9月にはオンラインでの登録や予約もできるようになります。技術系や営業職で男性の登録もかなり増え、確かに女性の割合が多いですが、「民間版『職安』のサイト」として打ち出しておりますので、若い方からシニア層と、年齢や性別を

問わずにご覧いただいています。

企業が求めている人をサイト上で検索できるような「ホットスタッフ」サービスも計画しており、求人側と求職側の双方がうまくかみ合う場所として提供いたします。

教育研修は、たとえばパソコン関連では経験に応じて数種類用意するほか、経理実務や英文会計、通信教育コースなど多数の仕事直結型のプログラムを用意しています。単に「登録スタッフに仕事を紹介する」だけでなく、オ

ンラインで仕事検索ができた、スキル向上のための研修が用意されたりと、派遣で働く環境がずいぶん変わりました。



一步進んだコンテンツも揃い踏み 多様化する情報手段を使う

新しいサービスやウェブサイトが次々と生まれてくるインターネットの世界で、就職・転職に役立つ情報は前出した以外にもいろいろと転がっている。メーリングリストや非営利の個人運営の情報なども含め、そのほかの情報手段の活用法を紹介しよう。

A メーリングリスト

各求人サイトは、新しい情報をユーザーに知らせるための一斉同報メール機能を用意しているところが多い。希望職種などの条件を登録しておく、それにマッチした求人情報が送られてくるので便利だが、ごく普通のメーリングリストに求人情報が入り込むケースもある。企業側からすれば専門分野のメーリングリストは人材の宝庫。したがって、ここで急募情報を出すのだ。必ずある情報ではないが、自分の専門分野はチェックしておくといいかもしれない。

B 学生が運営する個人ホームページ



ホテル業界就職体験記を掲載する「La Vie en Rose」
Jump www2.freeweb.ne.jp/~enrose/menu.index.htm

昨年くらいから、就職活動の情報交換を目的に、学生による学生のためのサイトが目立ち始めた。「商社が動き始めたらいい」といった企業の動きや、「A企業のBという人事の対応は本当にひどい」といった生情報など、就職活動に関するさまざまな情報が瞬時にかけめぐる。ただし、これらの情報の中にはかく乱を狙う悪質なデマもあるので、情報の受け手にもそれを選別する目が必要になることは否めない。

こうした情報交換のサイトは、その年の就職活動が終わると閉じられることが多いが、個人の就職活動体験を記したホームページは残っているので、来年の活動に向けた参考として覗いてみてはどうだろうか。

C シャープスペースタウン

ベストセラーのPDA、ザウルス・アイゲッティ(写真)。このアイゲッティでは「シャープスペースタウン」[Jump](http://www.spacetown.ne.jp) というサイトにアクセスしてソフトを有料でダウンロードしたり、情報を得たりできる。このソフトの1つに「My Digital 就職手帳」(¥500) が用意されており、これを利用すると就職説明会などの情報を簡単に手に入れることができる。実はこれ、前出の「リクナビ」のアイゲッティ専用版とも言えるもの。シャープスペースタウン



から得た説明会情報などをそのままスケジュール表に取り込めるので、便利に使えるのだ。
Jump www.spacetown.ne.jp

D iモード対応コンテンツ

iモードも就職・転職用のツールとして使えるようになってきた。リクルートでは「ポケットサイズ」というサービスを開始し、FromAのアルバイト情報、リクナビをベースとした就職情報を流していく。また、学生援護会でも「モバイルan」をスタート。ここでは情報検索のためのアルバイト情報検索サービスと有料でプッシュ型のマイバイトページの2つのサービスで構成されている。転職用のサービスはまだないが、近い将来登場してきそうだ。

【検証】ウェブを使った就職・転職活動の実態

ここまでウェブを使った就職・転職活動のノウハウについて述べてきたが、これらを使って実際に就職・転職する人も確実に増えていることは間違いない。就職・転職のためのサイトが増えてきたこと、インターネットというメディアが急速に浸透したことが大きい。それと同時に従来の就職・転職活動の煩雑さ、時間効率の悪さをウェブが

解消したこともその理由として挙げられるだろう。

求人情報誌を買う、ページをめくって探す、問い合わせの電話をかける、履歴書を書くといったアクションがなくなり、収集できる情報の数も膨大になったし、そこから自分の志向やキャリアにマッチする企業を検索するのも容易になった。また、一度希望を

登録しておけば、黙っていても求人情報や企業からのスカウトがやってくる。ウェブを上手に利用すれば、効率よく活動計画やキャリアプランを立てることが可能だ。

実際にウェブを使って転職した人の話を聞いてみると、「何がなんでも転職したかった」という人が少ないことに気づく。キャリアについて常に意識し、情報収集をしておく。大失業時代においても「やりたい仕事」を手に入れるためには、こうした態度が必要であり、以前よりもそれを容易にしたのは、インターネットというメディアなのである。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp